

はらはら、どきどき、
文化がいっぱい。



東アジア
文化都市
Culture City of East Asia 2019 Toshima
2019豊島

成果レポート



キャラクターデザイン
久野遥子



オールとしまで挑戦した 東アジア文化都市 2019 豊島



はらはら、どきどき、 文化がいっぱい。



東アジア文化都市 2019 豊島実行委員会 委員長
豊島区長
高野之夫

「としま新時代」の幕開け

豊島区は2019年、西安市、仁川広域市との東アジア文化都市事業を、多くの区民や関係者の皆様とともにオールとしまで展開してまいりました。お力添えいただいた全ての皆様に心から御礼申し上げます。

本事業を通じて、文化の交流は国家間の様々な軋轢を超えて人と人との絆を紡いでくれることを、多くの方々と共有できたと確信しております。これからも西安市、仁川広域市との交流の絆をさらに強くしながら、次の世代に引き継いでまいります。

東アジア文化都市2019豊島では「舞台芸術」「マンガ・アニメ」そして「祭事・芸能」を中心にオールとしまでの参加によって様々な文化プログラムを展開いたしました。特に世界共通の文化である「マンガ・アニメ」を有意義にアピールできたことは大きな自信につながっております。11月に開催した「池袋アニメタウンフェスティバル」では「マンガ・アニメの聖地」としての池袋、豊島区の魅力を国内外に向けて大きく発信することができました。

いま豊島区は、東アジア文化都市の開催記念事業として、Hareza池袋をはじめ、池袋西口公園の野外劇場、真っ赤な電気バスなど、23のまちづくりプロジェクトが進行しています。区民の皆様と共に一体となって取り組んだこの事業によって、豊島区は「国際文化都市」へと舵を切りました。

文化によって東京で一番、勢いのあるまち、元気のあるまち、注目されるまちとして、「としま新時代」につながる扉が未来へ向けて開かれています。

世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市の実現に向け皆様とともに歩んでまいりましょう。



文化庁長官
宮田亮平

**「国際アート・カルチャー都市」
豊島区への期待**

豊島区は、2019年、東アジア文化都市として多くの文化芸術イベントを展開し、大きな成功を収めました。オールとしまの取り組みで多くの区民の方が自ら主役となって文化交流の担い手となったこと、また、本事業を契機とした文化によるまちづくりが行われたことは、今までにない新しい東アジア文化都市の在り方を示したと思います。

今後も、多様な人や文化を受け入れながら発展してきた豊島区が、国際都市として人や産業をより惹きつける好循環を創出するとともに、3都市間の交流により芽生えた新たな出会いと友情が、ますますの交流の発展につながり、今後の東アジア文化都市にも引き継がれ、花開くことを祈念いたします。



「楊貴妃」(シテ：観世喜正、撮影：新宮夕海)

BACKGROUND STORY



豊島区は“文化の力”を都市づくりの推進力に

2014年、豊島区は、民間有識者組織・日本創成会議によって、東京23区で唯一、「消滅可能性都市¹⁾」の指摘を受けました。これを受け、その発表直後から集中的に検討を重ね、「子どもと女性にやさしいまちづくり」、「高齢になっても元気で住み続けられるまち」、「様々な地域との共生」、「日本の推進力」を対策の柱に掲げ、戦略的かつ重点的に施策を展開しました。

それと同時に、2015年、この人口減少社会にあつて、持続して発展する都市を目指すべく、「国際アート・カルチャー都市構想²⁾」を策定しました。さらに2016年には、「国際アート・カルチャー都市構想実現戦略」を策定。「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」を豊島区が目指す都市像とし、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、さらにその先を見据え、豊島区の魅力を国内外へ発信する様々な戦略を掲げました。

オリンピックイヤーの前年、世界中の注目が東京に注がれる、この時に東アジア文化都市2019豊島を開催することが、豊島区の魅力を世界に向けてアピールする100年に一度の最大のチャンスとして、2017年に開催都市に立候補し、2018年の日中韓文化大臣会合で開催都市に決定しました。豊島区が国際都市としての歩みを踏み出す中で、東アジア文化都市を開催することは、国際アート・カルチャー都市実現への歩みを加速させるものと位置づけていました。

- *1. 2010年から2040年にかけて20～39歳の女性が50%以上減少すると推計された自治体が指摘を受けた。
- *2. アートの持つ想像力・創造力で、まちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、人と産業を惹きつける好循環を創出しようとする構想。

International City of Arts and Culture vision



Culture City of East Asia 2019 Toshima

Culture City of East Asia 2019 Toshima

東アジア文化都市とは

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を毎年1都市選定し、文化交流、文化芸術イベント等を実施する国家的プロジェクト。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。



第10回日中韓文化大臣会合
2018年8月30日(中国ハルビン市)



2014年から始まり、横浜市(2014年)、新潟市(2015年)、奈良市(2016年)、京都市(2017年)、金沢市(2018年)に続き、豊島区は国内6番目、2019年の日本代表都市として、中国・西安市、韓国・仁川広域市とともに東アジア文化都市を開催しました。東アジア文化都市2019豊島では、これまで豊島区で育まれてきた多様な文化事業と、「舞台芸術」「マンガ・アニメ」「祭事・芸能」の3部門における新規事業のほか、多くの区民参加事業が一体となり、1年間にわたり祝祭性溢れる事業を展開しました。

東アジア文化都市2019豊島 概要
 期間：2019年1月～12月
 実施事業：397事業
 来場者数：延べ350万人
 主催：東アジア文化都市2019豊島実行委員会、豊島区、文化庁
 会場：東京芸術劇場、Hareza池袋、など豊島区内各所

交流都市



中国 | 西安市

中国西北地方の政治・経済・文化の中心地。シルクロードの東の起点として栄えた都市で、旧名は長安。紀元前11世紀から約2000年の間に、秦、漢、隋、唐など13の王朝の都だった。紀元前3世紀には、秦の始皇帝が万里の長城や壮大な墓を残し、墓を守る兵馬俑は西安最大の歴史遺産となっている。

[人口] 約1200万人
[面積] 10,108 km²



韓国 | 仁川広域市

韓国西北部の黄海に面した韓国を代表する港湾都市。国際交易港である仁川港の繁栄とともに発展。2001年に開港した仁川国際空港によって新しい韓国の空の玄関口として、東北アジアの交通のハブ、国際物流の中心都市として注目されている。人口は、ソウル、釜山に次いで国内第3位。

[人口] 約300万人
[面積] 1,063 km²



数字で見る 東アジア文化 都市2019 豊島

オールとしまの
推進体制
実行委員会
約100人
推進協議会
約1200人

「豊島区の住民であること
に誇りを持っている」
区民の割合 **5ポイントUP**
※開催前 54% から開催後 59% へ増加

一都三県で「豊島区が
文化に力を入れている」
と考える人が **5ポイントUP**
※開催前 26% から開催後 31% へ増加

東アジア文化都市2019 豊島実行委員会
全体統括

吉岡知哉



東アジア文化都市2019 豊島は大成功の内に幕を閉じました。7つの目標は一年を通じて様々な形で実現し予想以上の成果をあげました。イベント数や参加者数は驚くほどですし、Hareza 池袋や池袋西口公園野外劇場など施設の充実も目を見張りますが、真の成果は区民全体で共有した経験とここで育まれた自信と誇りが生む、未来への力に他なりません。

株式会社キョードー・ファクトリー代表取締役
国際アート・カルチャー都市チーフプロデューサー

前田三郎



中韓をはじめ東アジアの国々と関係を構築した東アジア文化都市は国際アート・カルチャー都市としまの国際戦略の大きな成果のひとつと言えます。2019年から2020年はHareza 池袋、4つの公園、IKEBUS、そしてトキワ荘など空間戦略の具体的な表現空間が完成を迎え、文化戦略の中のコンテンツが花開こうとしています。これからが本番です。世界中の人々をお迎えしようではありませんか。

※各数値について
インターネットアンケート及び来場者アンケートを
基に算出。インターネットアンケートは2019年2
月と12月に豊島区民、一都三県の居住者（池袋
より35キロ圏内にある市区町村の居住者）を対
象として実施。それぞれ豊島区民約700人、一都
三県の居住者約2,000人から回収。まちのイメー
ジは23区比較によるもの。来場者アンケートを基
にした割合は、各事業ごとの回答結果と来場者数
を基に加重平均を行ったものである。

93%

1300人

5PT

77%

子育て世代の
開催認知度 **77%**
※豊島区の小学生の子あり世帯が対象

事業満足度 **93%**
※式典・ディレクター事業への参加者が対象



3都市間交流事業
参加・出演者数
約 **4000人**

※東アジア文化都市2019 豊島実行委員会、
西安市、仁川広域市主催事業データ

4000人

151人

69%

1位

一都三県で「中国や韓
国の文化への興味・関
心の喚起に貢献した」
と考える人は **69%**

女性が考える
「マンガ・アニメの
溢れるまち」
第1位
「劇場があるまち」
第1位

東アジア文化都市事業初の
民間中韓視察訪問団
参加者数 **151人**

元文化庁長官
豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会会長
豊島区芸術顧問

近藤誠一



豊島区は高野区長のリーダーシップのもと、文化によってわずかに数年で活力あふれる都市に変身し、あっという間に東アジア文化都市になりました。京都などの国際文化都市が選ばれてきたこのカテゴリーに豊島区が入ったのです。この成果レポートは、この快挙がいかに区民の方々の手でなされ、その宝になっているかを示す貴重な資料です。

重要無形文化財 狂言 保持者（人間国宝）
豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会特別顧問
豊島区名誉区民

野村萬



東アジア文化都市2019 豊島の実施にあたり、「国際アート・カルチャー都市」という大きな構想を中心に据えて取り組まれました。事業の閉幕を迎え、この構想の基とも言うべき「豊島区民ひとりひとりが『劇場空間』の主役である」という大胆な発想の実現に、確実な一歩を踏み出したこと、劇場群 Hareza 池袋が更なる未来に向けての構想の核となることを、強く確信致しております。

独立行政法人国立美術館理事
豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会副会長

太下義之



多様な事業が展開された結果、豊島区住民であることを誇りに感じている区民の割合が増加し、シビックプライドの醸成に貢献しました。また、民間主導で151名の視察団が組成され、西安市、仁川広域市の市民と草の根の文化交流が実現した点は、「国と国」の関係が困難な今日において、文化を通じた市民交流の先進事例になると高く評価します。

同志社大学教授

佐々木雅幸



人間国宝野村萬氏による厳かな奏上から幕を開けた東アジア文化都市2019 豊島は質量共に従来の開催都市を凌駕する成果を挙げました。日中韓文化交流事業を始め約400事業、参加者総数約350万人などシビックプライドを醸成する壮大な取り組みであったのみならず、東京建物 Brillia HALLと池袋西口公園野外劇場の新設により、劇場都市豊島として新たな豊饒の海へと漕ぎ出でる契機となったことは喜ばしいことです。

西安市・仁川広域市との交流を通して国際都市へ

世界共通の文化であるマンガ・アニメの聖地



区民の力により実現した民間交流！



日中韓の新たな絆が生まれた文化交流！



これからの交流を約束する3都市による共同宣言！



としマンガ としアニメ キャラバン / IMART



池袋アニメタウンフェスティバル開催！



池袋ハロウィンコスプレフェス



トキワ荘マンガミュージアム (2020年3月22日オープン)



池袋ハロウィンコスプレフェス 2019

豊島区観光協会名誉会長
東アジア文化都市2019 豊島推進協議会会長

齊木勝好



「文化」を軸にした高野区政の「まちづくり」は、伝統文化を守りつつ、新文化政策に挑戦してきました。その一環として取り組んだ東アジア文化都市では国際都市として見事、成果をあげ、特に、政治的に厳しい中、豊島区民を中心とした総勢151名による西安市、仁川広域市訪問は、「平和の使節団」としての使命を十分に発揮する事業となりました。まさに官民一体「オールとしま」の皆様で成し遂げた「アッパレ」事業です。

東アジア文化都市2019 豊島
祭事・芸能部門責任者

東澤昭



私たちは、東アジア文化都市の様々な取り組みを通して、伝統文化や地域の祭事・芸能が、中国・韓国の文化と長い歴史の中で繋がり、共通するものであることを再発見しました。それらは現代の新たな文化との融合や、人々の出会いと交流によって、より強い絆として深まるものとなりました。未来に向けてそれがさらに発展することを願います。

東アジア文化都市2019 豊島
マンガ・アニメ部門総合ディレクター

古川タク



この1年、豊島区庁舎を中心にアニメやマンガの展示やワークショップやトークイベントがいっぱい催されました。マンガ・アニメの魅力や多様性を少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。豊島区、中でも池袋はマンガ・アニメ・コスプレで盛り上がっているし、アニメ映画祭も開かれている。この地が文化としてのマンガ・アニメを育み、ゆくゆくは東アジアのマンガ・アニメのハブ空想的な役割を果たす文化都市に成長して欲しい。

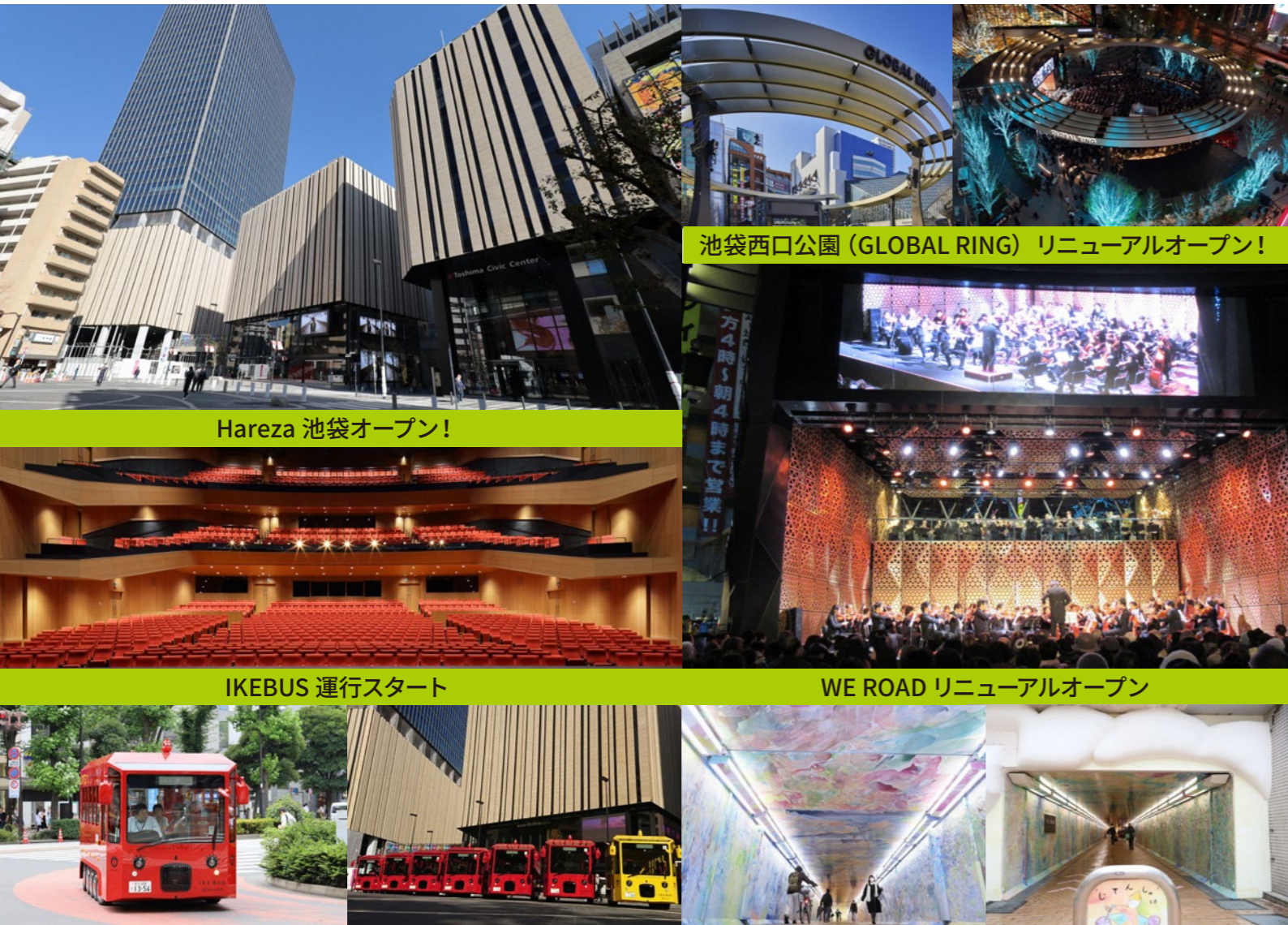
株式会社ドワンゴ 専務取締役 COO
豊島区国際アート・カルチャー都市プロデューサー

横澤大輔



東アジア文化都市開催に合わせ、6回目となる池袋ハロウィンコスプレフェスを中心に豊島区から新たな国際都市、マンガ・アニメの聖地として、世界に誇るカルチャーの発信を行いました。2019年度は12万3000名の来場者となり日本最大規模のコスプレイベントになりました。行政と民間、来街者とコスプレイヤー、様々なアニメタイトル、ありとあらゆる境界線を越えた、まさに多様性を体現したイベントとなりました。

まち全体が舞台の 世界に類を見ない劇場都市



Hareza 池袋オープン!

池袋西口公園 (GLOBAL RING) リニューアルオープン!

IKEBUS 運行スタート

WE ROAD リニューアルオープン

建築家
豊島区都市政策顧問
隈研吾

© J.C.Carbonne



20世紀の都市デザインをリードするのはアジアです。欧米の都市が20世紀をリードし、建築家も欧米をモデルとしたのに対し、われわれはすでに別の方向に向けて走り出しています。池袋が突然に、日本で最も人気のある街に変身を遂げたのは、池袋が変身を遂げた以上に、人々が都市に求めるものが変化したからです。池袋とアジアは、ひとつにつながっています。

東アジア文化都市2019豊島
舞台芸術部門総合ディレクター
宮城聡

© 新良太



「本気“度”」という言葉が流行しています。今の日本には「100%本気」の人はいない、という前提なんです。でもここ豊島区には、真正正銘の本気があったのです! まちのあちこちに演劇的手法が取り入れられ、日々の暮らしの中に「ハレ」のきらめきがちりばめられる。そんな劇場都市が、本気の取り組みで、本当に出現したのですから!

国際アート・カルチャー都市として輝きを放つ

東アジア文化都市2019豊島では、国際アート・カルチャー都市構想実現戦略の集大成として、「官」と「民」が力を結集し、オールとして様々な事業を展開しました。また同時に、東アジア文化都市開催記念事業として、Hareza 池袋を始めとする23のまちづくりプロジェクトを進め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までにはその整備が完了します。国際アート・カルチャー都市構想実現の起爆剤となる東アジア文化都市2019豊島の開催により、ソフト事業とハード整備とが

有機的に融合し、「まち全体が舞台の誰もが主役となれる劇場都市」が具現化しました。その成果と記憶は、永くレガシーとして次世代へと受け継がれることでしょう。2020年のその先の未来に向けて、東京都との連携を強化し、この機を逃すことなく、さらに世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市の形成を進めていきます。まさに今、国際アート・カルチャー都市「としま新時代」の幕が開けます。

2016

国際アート・カルチャー都市構想実現戦略

国際戦略 文化戦略 空間戦略
世界とつながり人々が集まるまち 多様性を踏まえた文化芸術の展開 出会いが生まれる劇場空間

2019

東アジア文化都市 2019 豊島

2020

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

東京都との連携強化

FUTURE

国際アート・カルチャー都市の実現

東京都知事

小池百合子



1年にわたる東アジア文化都市2019豊島が終わり、私は今、日中韓3か国間の文化交流が促進され、東アジアの文化の全世界への発信力が一段と強化されたことを実感しています。東京都は、東京2020大会に向けて「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、多彩な文化プログラムを都内各地で展開しています。

この東アジア文化都市2019豊島の成果の後押しを受け、大会の成功に向けて、さらなる文化面での盛り上げを展開してまいります。

豊島区におかれましては、本事業開催を契機に、高野区長の抜群のリーダーシップにより創出される国際アート・カルチャー都市構想が花開き、世界に誇る日本の新たな文化拠点が誕生し、地域全体がより盛り上がること、そして東京2020大会のレガシーにもつながることを大いに期待しています。



東アジア
文化都市
Culture City of East Asia 2019 Toshima
2019 豊島



公式 WEB サイト

<https://culturecity-toshima.com>

東アジア文化都市 2019 豊島実行委員会事務局

〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1 豊島区役所本庁舎

TEL 03-3981-1476 | FAX 03-3980-5160 | A0014400@city.toshima.lg.jp



令和元年度 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業